

高岡万歴日記

館員による日常の記録です。歴史館の日ごろの出来事をお伝えします。

第63回萬葉学会全国大会 2 日目 - 研究発表会

Like 0

第2日目は高岡市万葉歴史館の講義室で研究発表会が行われました。午前 3 名、午後 4 名の研究発表があり、それぞれ活発な質疑応答がありました。



研究発表会

- ・弓削皇子相聞歌群の形成－萬葉集における弓削皇子像をめぐって－
竹嶋麻衣氏（熊本県立大学大学院生）
- ・ムスヒ神・ムスビ神
森陽香氏（日本学術振興会特別研究員・フェリス女学院大学非常勤講師）
- ・「走り出」追考
垣見修司氏（高岡市万葉歴史館研究員）
- ・上代における謙譲の「タマフ」(下二段活用)と「タマハル」
根来麻子氏（大阪市立大学都市文化研究センター研究員・摂南大学非常勤講師）
- ・上代のマシをめぐって
栗田岳氏（東京成徳大学非常勤講師）
- ・大伴家持と応詔歌—萬葉集末四巻を中心に—
松田聡氏（多摩大学目黒高等学校教諭・早稲田大学非常勤講師）
- ・草香山を越える
影山尚之氏（園田学園女子大学教授）



当日は書籍販売も行われました。

カテゴリー: 学会 | 投稿日: 2010年10月24日 [<https://www.manreki.com/blog/?p=328>] | 投稿者: manreki